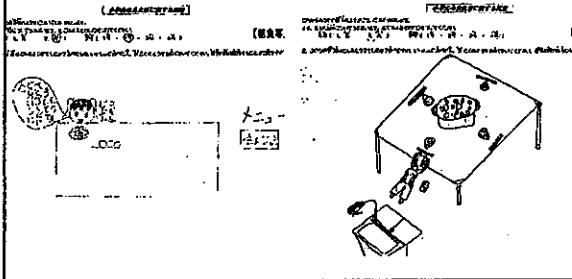


学校と家庭・地域との連携のあり方について key word 「開かれた」学校  
「当事者」意識 コミュニティの再構築

第6回 子どもの未来をひらく教育改革  
会議 08年03月24日(月) 北九州市立  
商工貿易会館  
九州大学大学院准教授 元兼正浩

前回の議論「家庭との連携や基本的生活習慣向上  
方策について」のつづきから...早寝・早起き・朝ご飯  
孤食 子食 個食 固食 小食 粉食 濃食 ...  
家庭の生活習慣問題 → 規範意識、学力問題、  
再生産を断ち切る方策としての「弁当の日」の取組



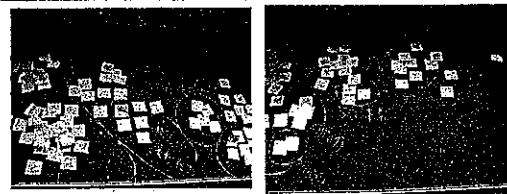
1-4 1990年代後半～かわらなきや

- ・教育行政が
- ・学校(教師)が
- ・教育(内容)が
- ・家庭(父母)が かわる
- ・地域(住民)が
- ・社会(企業・メディア)が
- ・子どもが

2-1 1990年代後半キーワードは「ひらく」

「かわる」ために「ひらく」  
授業を、教室を、職員室を、校長室を、  
教科の壁を、学級の壁を、学年の壁を、  
保護者との関係を、地域との関係を、行政との  
関係を、固定的な学校時間を、伝統や慣習・  
神話の正体を、情報伝達の流れを、学校予算  
の流れを、意思決定のしくみを、そして...あら  
ゆる学校経営を開いてみると...何かかわる

2008年「教育問題」とは何か？  
(下市大2007夏)



- いじめ、学力低下(ゆとり教育)、子どもの変容
- 保護者問題 未納、クレマー、「自主主義」
- 教師の資力不足 指導力不足、不祥事問題
- 新教育基本法、教育改革関連三法改正、...

1-1 1990年代後半～教育界の動向

- ・教育行政が
- ・学校(教師)が
- ・教育(内容)が
- ・家庭(父母)が わるい
- ・地域(住民)が
- ・社会(企業・メディア)が
- ・子どもが

2-2. それまで、学校はなぜ「閉ざされて」  
きたのか？(開かないことのメリット)

- ①学問世界、教育空間に内在する歴史的(本  
質的?)閉鎖性
- ~ミステリー『薔薇の名前』、秘伝、アジール  
(聖域)としての学校
- ②学校文化・風土の醸成しやすさ~文化的・  
変革型リーダーシップ
- ③経営合理的な側面(管理しやすさ)~管理・  
技術的リーダーシップ

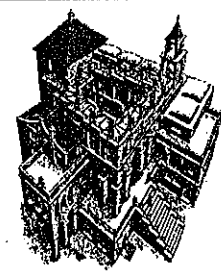
2-3. 「(地域に)開かれた学校(経営)」が  
要請される背景

- ①学校知のパラダイム転換論  
「内容知」→「方法知」
- ②コミュニティ・スクール論  
「地域のなかの学校」、「学校を核とした地域づくり」
- ③教育環境エコロジー論  
外部環境(父母・地域住民・関係諸機関)からの  
「正当性」を確保し、「協働」関係を構築しなければ  
サブシステムとしての学校は有効に機能しえない。

1-2 教育者がわるい？！

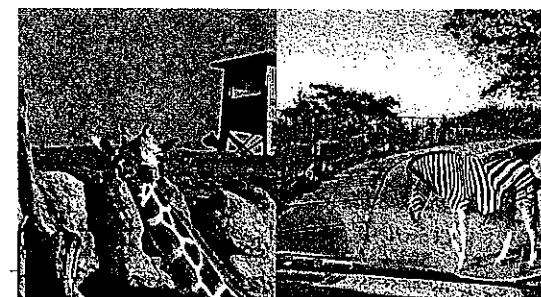


1-3 「教育改革」という果てしない物語



- やはり「受験競争」や  
「学歴社会」が悪い？
- それとも「学力」低下や  
「ゆとり教育」が問題なの  
か？
- 青少年の犯罪や自殺、  
フリーターやニート問  
題？少子化？
- 児童虐待？インター  
ネットやケータイ？若者  
のマナー？
- いじめ・不登校・ひきこも  
り？学級崩壊？指導力  
不足教師？

2-4 生き残り(サバイバル)の条件  
—どのように「かわる」とよいのか？



2-5. 九大・六本松キャンパス  
(旧制福岡高校)と外部環境



2-6. 「開かれた学校」とは、「だれ」に対して「何」を開いている学校なのか？

結論)「地域」(外部環境)に対し、「経営」(ビジョン、意思決定過程、...)をひらく

論点)地域とはいったいだれの事か？  
エリアの問題(学校区)、世代の問題(シルバー世代～就学前)、企業や同窓会組織など利害関係者(ステイクホルダー)

課題)声の大きい「地域ボス」やインビジブル・サイレント・ステイクホルダーの声をどう扱うか？

2-7. 窪田真二(2000)による  
＜学校参加＞の種類

- ①要求実現の方法としての参加
- ②教育問題解決としての参加
- (学校教育・家庭教育最適化方策)
- ③学校経営における公正確保の方法としての参加
- (校長裁量の正当性確保) ... 学校評議員制度
- ④教育活動の一環としての参加
- (教育課程充実の支援、生徒の市民性育成)
- ⑤学校づくりの主体としての参加 ... 学校運営協議会制度(通称:コミュニティスクール)

3-5 学校評議員として、どういう人が求められたのか(福岡県教委)

- ＜消極条件＞当該学校の職員以外の者で  
＜積極条件＞①教育や青少年年度の育成に関して理解及び識見を有していること  
②意見を求めたい内容に関し、専門的立場から客観的な意見・助言が得られること  
③学校運営に対して積極的な支援・協力が得られること  
＜消極条件＞充て職では効果期待できない？

3-6 学校評議員は、どのようにえらばれるのか？

委嘱権者(学校設置者)～設置要綱制定  
(人数・委嘱期間・役割など)



推薦権者(校長)～各学校がどのような学校像を展望し、何を評議員に期待するか

3-1 学校評議員制度は、なぜ必要とされたか(その1)？

第16期中央教育審議会答申('98.9)より  
設置目的)

地域に開かれた学校づくりを推進するため  
設置理由)

- ①保護者や地域の意向を把握するため
- ②学校運営のための協力を得るため

\*ベクトルは一方

3-2 学校評議員制度の性格

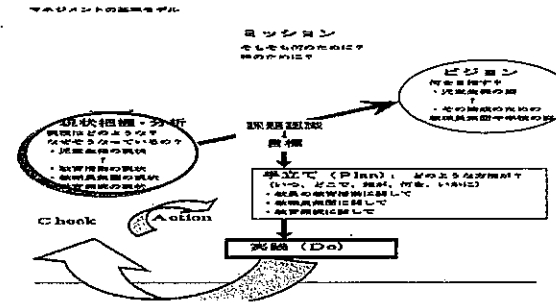
第16期中央教育審議会答申('98.9)より

構成員)「学校外の有識者等」の参加を得て、

活用方法)学校運営に関し幅広く意見を聞き、必要に応じ助言を求めめるための制度

設置要件)地域の実情に応じて設置可能

4-1 目標管理型学校経営モデル



4-2 学校評議員の委嘱の実際

- |                |  |
|----------------|--|
| Aさん: 地域との連携のため | 役割期待   |
| Bさん: 職場体験の助言   | ①「地域の代表」として(地域の意見集約者・意向表明者として)                           |
| Cさん: 特色づくりの助言  | ②「特色ある学校(教育課程)づくり」(例えば総合的な学習の時間、職場体験)のため(学校教育活動への協力者として) |
| Dさん: 学校経営の助言   | ③学校経営への助言者として  |
| Eさん: 学校行事の支援   | ④学校関係評価者として  |
- 目的に応じ、幅広い分野から委嘱

3-3 学校評議員制度は、なぜ必要とされたか(その2)？

「学教法施行規則の一部を改正する省令の試行について」事務次官通知('00年1月)

設置目的)開かれた学校づくりの推進  
設置理由)①保護者・住民の意向の把握・反映、②その協力を得る、③学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任(=アカウントビリティ)を果たしていく観点から、...

\*反対のベクトルも...

3-4 学校評議員として、どういう人が求められたのか(国レベル)

- ＜消極条件＞000121事務次官通知  
①児童・生徒の委嘱は想定していない  
②教育委員、教育長等の委嘱もなさない  
＜積極条件＞980921中教審最終答申  
学校の種類、目的等に応じて、学区内外の  
①有識者、②関係機関・青少年団体等の代表者、③保護者など、できるだけ幅広い分野から委嘱することが望ましい

4-3 学校評議員になにが期待されていたか(metaphorから)

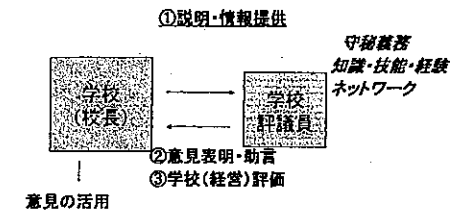
- 「学校経営のコンサルタント」「外圧」
- 「校長のアドバイザー」「広報・パイプ役」
- 「校長のパートナー」「オンブズパーソン」
- 「校長のサポーター」「学校づくりの参画者」
- 「地域社会と学校をつなぐコーディネーター」
- 「地域住民の代表」「校外教育活動の支援者」

4-4 学校評議員(学校運営協議会の委員)に期待される資質・力量

- 共通に求められる資質・力量
- ①当該校の職員(内部者)が有していない知識や経験、情報、技能を持っている人\*\*
  - ②「学校評議員制度」「学校運営協議会制度」の趣旨をよく理解している人  
-委員を育てるのも校長の力量
  - ③学校評価能力を有する人？

4-5 学校評議員(学校運営協議会委員)になにが評価できるか?

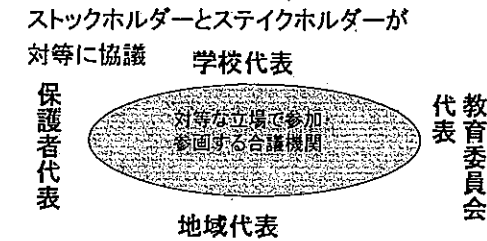
学校の一部を断片的にしか参観できないレイマン(素人)に何が評価可能か?



4-6 制度の成否は情報

\* 学校評議員制度の成否は、  
 ①正確な内部情報、マイナス情報まで学校側が提供できるかどうか  
 ②評議員の意見を(たとえ苦言であっても)学校共有の知的資産とするか  
 cf. 田原校長資料2頁「ありのままを伝える」  
 →ナレッジ・マネジメント  
 「苦情」を活かす学校経営

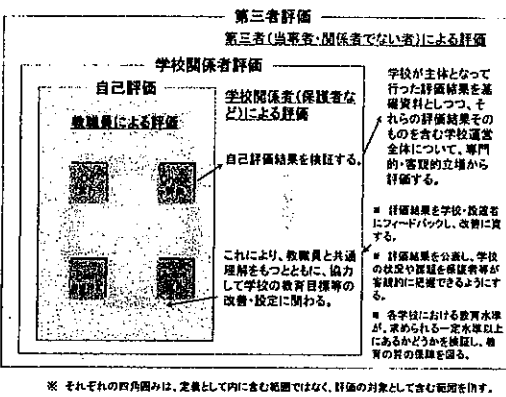
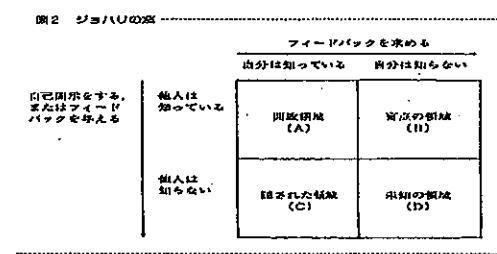
5-3 学校運営協議会のメンバー構成



5-4 学校運営協議会の役割

- 学校の基本方針の承認 → 目的の共有化
- 学校の運営についての意見を述べる
- 教職員の採用その他任用について任命権者に意見を述べる
- 学校運営や教育活動の評価

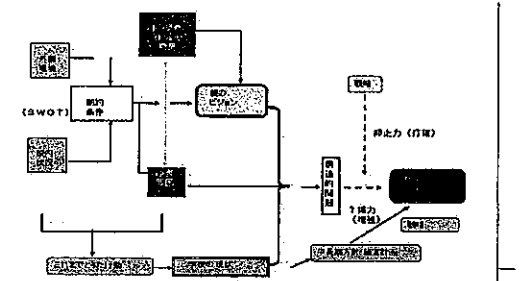
4-7 学校評価ガイドライン



5-5 マネジメントの時代(4Mの最後~ビジョンの共有化から)



5-6 共有ビジョンをつくる



5-1 2000年代の課題 プレゼンス

あらためて「公教育」の存在理由(プレゼンス)が問われている...  
 ●●市町立小・中学校 設置者 ●●市町村  
 服務監督者=●●市町村教委 県費負担職員  
 とはいえ、身分は●●市町村の職員 公務員であること、とりわけ教育公務員として優遇されている相拠、私立学校も公教育を担っている中で公立学校であることの意味...  
 納税者たる市民(国民)の厳しいまなざし

5-2 学校(企業)はだれのものか?

現代の経営 企業ガバナンス論  
 ストックホルダー → ステイクホルダー  
 (内部社員) (利害関係者)  
 日本的経営 ex.「地域」重視  
 役員、社長・社員 (消費者) 株主  
 行政、校長・職員 (子ども)保護者、地域住民  
 □ ex)ニッポン放送は誰のものか?  
 阪神タイガースはだれのものか?

5-7 外部者→当事者になる挑戦!

\*ステイクホルダー(利害関係者)  
 =保護者、地域が巻き込まれていくくみとしての学校運営協議会  
 地域に関われ、  
 地域が支え  
 学校づくり

おわりに.

まずは「等身大の学校」(学校ができること、できないこと、教師ができること、できないこと)を理解し、夢を語り合い(ビジョン共有化)学校関係者が当事者意識をもってオーナーシップの「おらが学校」をつくるための立ち上がる。学校評議員制度も学校運営協議会も学校関係者評価もそのためのツール(チャンネル)。